

INVERTER

FET SPEED CONTROLLER

NEA-850B・NEA-950B

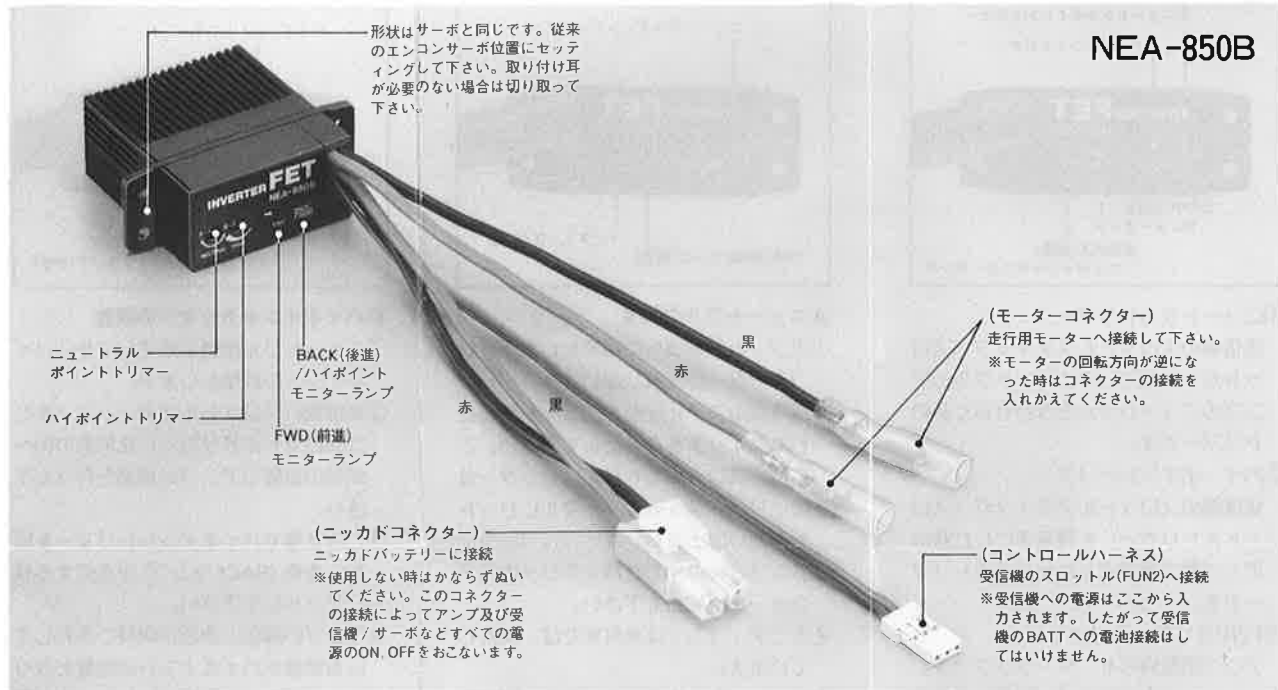
バック付 FET スピードコントローラー 取扱い説明書

お買い上げいただき
ありがとうございます。

この度は、当社FETスピードコントロールアンプNEA-850B・950Bを、お買い上げいただき有難うございます。

FETアンプでは初めてのインバータ（高周波スイッチング）方式を採用従来にない立ち上がり滑らかさに加えてモーターマグネットの劣化を防ぎます。リレーを使用しないバック回路付、（異常発熱を防止するヒートプロテクター内蔵）しかも、サーボと同じ形ですので車への搭載が便利です。ご使用になる前に充分この取扱い説明書をよくお読みになり正しくお使いください。

1 各部の名称・接続方法



NEA-850B

2 仕様

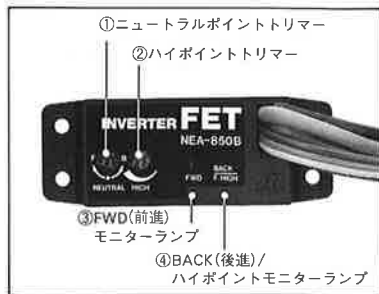
	NEA-850B	NEA-950B
電 圧	7.2~8.4V	7.2~9.6V
連続電流	20A (8分間・前進)	25A (8分間・前進)
瞬間最大電流	240A/前進(※)	720A/前進(※)
ロス抵抗	0.013Ω/前進	0.01Ω/前進
動作方式	フルFET・ブレーキポイント・バック回路付	
寸 法	45×40×20mm(突起物は含まず)	
重 量	65g (コネクター含む)	68g (コネクター含む)

(※) はFETチップの大きさを表わすものです。

3 NEA-850B・950Bの特長

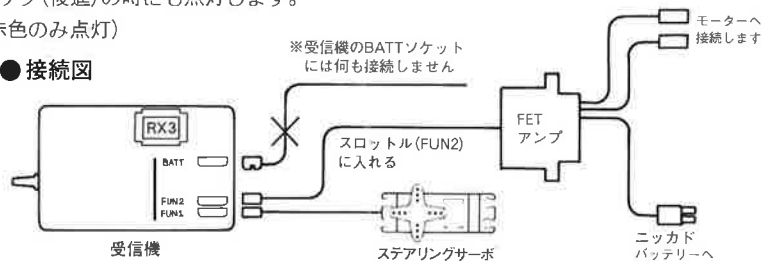
- FETアンプでは初めての放熱効果の良いパワーモジュールを8個採用。ロス抵抗が非常に少なく、走行用ニッカド電池の電力をムダなくモーターに供給します。
- このクラスでは初めての高周波スイッチング方式により、なめらかでロスの少ないモーターコントロールが出来ます。
- リレーを使用しないバック機構付。オールモスFETにより接点ロスがまったくありません。
- 異常発熱を防止するヒートプロテクター内蔵。
- 前進・ハイポイント及びバックモニター付。
- 受信機サーボ用の定電圧電源回路を内蔵。走行用のニッカド電池から共通電源で使用できます。
(BEレギュレーター内蔵)
- 形状がサーボと同形でセッティングが簡単にできます。
- ヒートシンクを標準装備しています。

4 トリマーの説明



- ①ニュートラルトリマー
送信機のスロットルスティック（スロットルトリガー）のニュートラルとアンプのニュートラルを合わせるためのトリマーです。
- ②ハイ・ポイントトリマー
送信機のスロットルスティック（スロットルトリガー）を最高速にした時のアンプ側の最高点をセットするトリマーです。
- ③FWDモニターランプ
アンプ調整時のモニターランプです。アンプが前進状態の時、緑色に点灯します。
- ④BACK/F.HIGH.モニターランプ
アンプ調整時のモニターランプです。スピードの最高速点で赤色に点灯します。（緑/赤色共に点灯）
バック（後進）の時にも点灯します。（赤色のみ点灯）

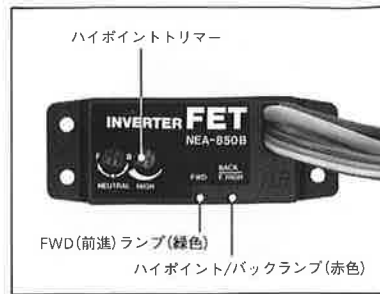
●接続図



5 調整方法



- A ニュートラルの調整
 - ①アンプと受信機への接続をして下さい。（モーターは接続しないで下さい）
 - ②送信機のスティックをニュートラルにしてスイッチをONして下さい。この時、スロットルトリムはセンター位置にリバースSWはノーマルにセットしておいて下さい。
 - ③アンプと、ニッカドバッテリーのコネクターを接続して下さい。
 - ④モニターランプは点灯または、消灯しています。
 - ⑤ニュートラルポイントトリマーをFWD（グリーン色）、BACK（赤色）のランプが消える様に回して下さい。
 - ⑥両方のランプ（赤、緑色）が消えるポイントがニュートラル位置となります。



- B ハイポイントトリマーの調整
 - ①ニュートラル調整が終了してからハイポイントの調整をします。
 - ②送信機のスロットルスティック（またはスロットルトリガー）を前進の80～90%の位置でアンプの調整を行って下さい。
 - ③この状態でハイポイントトリマーを回し赤色（BACKランプ）が点灯する様にセットして下さい。
 - ④ランプの緑色と赤色が同時に点灯している状態がハイポイントの位置となります。（スティックをニュートラルに戻せば両方のランプは消灯します。）
 - バック走行の確認はスロットルスティックをバック側にすると、赤色ランプ（BACK）が点灯します。
※バック走行は、前進スピードの約50%に設定されています。

6 使用上の注意

1. 標準装備のコネクターは、タミヤ仕様ですが、ニッカド電池等のコネクターが異なる場合は市販の変換プラグをご使用下さい。この時(+) (-)には、充分ご注意下さい。もしも逆接しますとアンプは瞬時にこわれます。

2. 高速走行でのブレーキは早めに行ってください。バッテリーのロスが少なくなります。
3. 車が障害物などにはさまったまま、無理に走行させようとししないで下さい。この様な時は過大電流が流れますのでアンプを壊すことになります。又ギヤーなど回転部分に異物が入った時おなじです。
4. ヒートプロテクターを装備していますが、過熱しすぎますとパワーが出なくなります。この時は、アンプの温度が下がらないうちに再走行して下さい。
5. オフロード車への使用で水溜りなどの走行が予想される時は、予め受信機、アンプに防水処置を施しておいて下さい。電気回路に水が入ると操縦不可能になり車が暴走することがあります。
6. ニッカドバッテリーの電圧が下がってくると、正常にコントロールが出来なくなります。この場合すぐ使用を中止し、充電して下さい。
7. 各コネクター部分の接触（錆など）定期的にチェックして下さい。大きい電流が流れますので接触部分が劣化して抵抗を持つとこの部分が発熱しコネクターが溶けることがあります。
8. 共通電源と別電源との同時使用はしないで下さい。

※当社は厳重な品質管理下で生産し、お届けしております。ご不審の点がございましたらお買い求めの模型店、又は当社サービス課までご相談下さい。

JRは日本で唯一のリモートコントロール専門の開発会社です

JR REMOTE CONTROL

日本遠隔制御株式会社 東京都大田区東大田4-2-12 TEL. 06(73)10700(代)